

科目名	データサイエンス入門 Introduction to Data Science						
科目担当者	岡 夏樹 OKA Natsuki						
単位数	2	配当年次	1年	授業形態	講義	開講学期	後期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目] 法学部・法律学科 [専門教育科目 関連科目]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会におけるデータ・AI利活用の最新状況について学ぶ (教科書第1章) ● データリテラシーの基礎的事項を学ぶ (教科書第2章) ● データ・AI利活用の心得について学ぶ (教科書第3章) 						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ① データ・AI利活用の最新状況が分かる ② データリテラシーの基礎的事項が身につく ③ データ・AI利活用の心得を理解する 						
授業計画・内容	1	1.1 社会でおきている変化 (1) : SNSに関連する変化など					
	2	1.1 社会でおきている変化 (2) : AIに関連する変化など					
	3	1.2 社会で活用されているデータ					
	4	1.3 データとAIの活用領域					
	5	1.4 データ・AI利活用のための技術 (1) : 予測、クラスタリングなど					
	6	1.4 データ・AI利活用のための技術 (2) : 可視化、パターン認識など					
	7	1.5 データ・AI活用の現場					
	8	1.6 データ・AI利活用の最新動向					
	9	2.1 データを読む (1) : データの分布と代表値など (Pythonの実習を含む)					
	10	2.1 データを読む (2) : 相関、標本抽出など (Pythonの実習を含む)					
	11	2.2 データを説明する (Pythonの実習を含む)					
	12	2.3 データを扱う (1) : データの集計と並べ替え、ヒストグラム、散布図 (エクセルの実習を含む)					
	13	2.3 データを扱う (2) : データの集計と並べ替え、ヒストグラム、散布図 (Pythonの実習を含む)					
	14	3.1 データ・AIを扱う上での留意事項					
	15	3.2 データを守る上での留意事項					
授業外学修 (事前学修)	<ul style="list-style-type: none"> ● 教科書の次回授業範囲に目を通しておく (毎週1時間程度) 						
授業外学修 (事後学修)	<ul style="list-style-type: none"> ● 各回の復習をしつつ、その週の小テストやミニレポートに取り組む (毎週2時間程度) ● 期末試験に備え、全体の復習をする (15時間程度) 						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎回の小テストやミニレポート ● 期末試験 					50% 50%	①→②→③ ①②③
成績評価基準	秀 : (評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優 : (評点 80 点~89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合 良 : (評点 70 点~79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合 可 : (評点 60 点~69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可 : (評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合						
教科書	『教養としてのデータサイエンス』、北川源四郎／竹村彰通・編 内田誠一他著、(講談社) : 授業計画・内容の先頭の数字はこの教科書の章・節番号です。						
参考文献							
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● どんな学生の受講が望ましいか : データサイエンス、AIに興味がある。今の時代の教養として、データサイエンス入門は勉強しておきたい。 ● 以下の科目の履修は本科目の理解を助けるが、履修していない学生に配慮して授業を進める : 「基礎数学 I,II、統計学 I,II、プログラミング基礎 I,II」 ● Pythonの実習を含むが、プログラミング未経験者も心配不要。生成AIを利用することで、助言してもらえたり、質問に答えてくれたり、プログラムの書き方を教えてくれたりするので初めてでも大丈夫。期末試験も含めて生成AIの活用を推奨。 						